

教科	技術・家庭	科目	家庭科	単位	技術家庭2 (家庭1)	年次	中学2年
使用教科書	技術・家庭 家庭分野(開隆堂)						
副教材	技・家ノート 家庭分野(開隆堂)						

1. 担当者からのメッセージ (学習方法等)

授業で考える場面では自分の生活と照らし合わせ、自分のこととして進んで考えてみましょう。また、積極的に経験や考えを発表し、お互いの考えを共有し深めていきましょう。実習での作業では、毎回の授業の課題を安全に気を付け丁寧に進めていくことを目標としましょう。授業で習った知識や技能を、日常生活の中で積極的に実践してみましょう。一人でやることができるようになることが、最終目標です。

2. 学習の到達目標

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 知識・技能	b: 思考・判断・表現	c: 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 主 旨	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評 価	ワークシート、定期テスト、発表、行動観察	ワークシート、定期テスト、発表、行動観察	ワークシート、定期テスト、発表、行動観察

上に示す観点に基づいて、学習のまとめごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4. 学習の活動

月	単元	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法	
			a	b	c			
4	衣生活の自立	【日常着の活用】自分らしくコーディネートしたり、衣服のはたらき、衣服の構成、衣服の入手計画と選び方		○	○	衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している	ワークシート、定期テスト、発表、行動観察、	
5								
6		【日常着の手入れ】衣服の汚れと手入れ、衣服の素材と手入れ、衣服の洗濯、衣服の収納・保管、衣服の補修	○	○	○	衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解し、適切にできること。		
7								
8								
9		身近な消費生活と環境	【布を用いた物の製作】製作に取り組む	○	○	○		製作するものに適した材料や縫い方について理解し、用具を安全に取り扱い製作が適切にできる。
10								
11								
12	身近な消費生活と環境	【消費と環境のガイダンス】家庭生活における消費や消費生活のしくみについて。		○	○	購入の方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解している。		
1		【商品の選択と購入】商品購入のプロセスや生活情報の活用、支払いの方法について。	○	○	○			
2		【よりよい消費生活のために】契約と消費生活のトラブルを事例を通して考える、消費者の権利と責任を理解する。	○	○	○		消費者の基本的な権利と責任を理解している。	
3		【環境に配慮した消費生活】自らできるエコ生活、地域や社会での協力、持続可能な社会について。	○	○	○		自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解している。	

※表中の観点について a: 知識・技能 b: 思考・判断・表現 c: 主体的に学習に取り組む態度

※ 原則として一つの単元 題材 で全ての観点について評価することとなるが、学習内容・小単元の各項目において重点的に評価を行う観点 もしくは重み付けを行う観点 について○を付けている。